

第53回ITER 機構職員募集説明会でのQ&A

1. 日時・場所

平成24年8月22日(水) 18:30~19:30

TKP 新橋ビジネスセンター カンファレンスルーム 3B

2. 来訪者: 4名

3. 説明概要:

ITER機構職員に採用が内定したゲストを迎え、対談形式でITER採用試験の体験について語って頂いた。対談の要所にて来訪者からの質問を受け、それに答える形で対談を進めた。(ITER計画管理グループ 杉本、上野)

4. 主なQ&A

Q:ITER建設地のカダラッシュはどんなところですか？

A:イーター建設地のカダラッシュは、南仏プロバンス地方にあります。最寄りの国際空港は車で約1 時間半程度(約70 km)離れた、マルセイユ・プロバンス空港です。イーター建設サイトは、フランス原子力庁(CEA)のカダラッシュ研究センターに隣接しています。カダラッシュの近くの町としては、南西方向に40 kmほど離れたところにエクサンプロバンス(車(高速道路経由)で約45分程度)、また北方向に20 kmほど離れたところにマノスク(車で約25分程度)があります。

Q:ジョブディスクリプションに、P3 とか P4 と記載されているグレードとは何を意味するのでしょうか？

A:これは、イーター機構における専門職員の職位(級に相当)を示しています。イーター機構では、国際原子力機関(IAEA)などに準じて職位が定められています。P のとなりの数字が大きくなるほど職位は高くなります。P とついたポジションは、専門職員で最上級は P5 です。この上に部長級の D (D1、D2)、副機構長の DDG、機構長の DG があります。概ね P4、P5 が中堅、P1、P2 が若手、P3 がその中間というところですが、また、支援職員に対しても職位があり、G のとなりの数字が大きいかほど職位は高くなり、G7 が最上級です。

Q:家族を連れて赴任する人はいますか。皆さんどこに住んでいますか？

A:家族を連れて赴任する人は、います。現状では、カダラッシュへ赴任する人は、ほとんどエクサンプロバンスあるいはマノスクに住んでいます。エクサンプロバンスは人口 13 万人程度で、15 世紀に大学が創設されたという歴史のある町です。また印象派の画家セザンヌが生まれ、生涯を通して活動した場所としても知られています。また、家族を連れて赴任する方の多くは、ITER 国際学校があるマノスクに住んでい

ます。マノスクは人口3万人程度の比較的小さな町ですが、やはり歴史があります。

Q：ITER 職員に応募するに当たって、どのような経験が必要ですか？

A：ITER 機構職員の募集には、募集ポジション毎に Job Description として募集の詳細が記載されており、必要とされる職務経験も記載されていますので、それぞれ要求される条件をみたくする必要があります。一般的に、募集されているポジションと同じ分野等での研究機関やメーカーなどにおける実務経験が求められます。

Q：ひとりで複数のポジションに応募できますか？

A：応募ポジション数の制限はありません。自身の経歴に照らし合わせて、関連するポジション、可能性のありそうなポジションに積極的に応募したらよいと思います。応募するポジション毎に ITER 機構の Web サイトから書類を登録し、応募をお願いします。

Q：現在カダラッシュサイトでイーター活動に従事している日本人は何人いますか？

A：2012年8月はじめで、専門職員(Professional Staff)として22名の日本人研究者・技術者が、カダラッシュサイトでイーターの建設活動に従事しています。また、支援職員(Technical Support Staff)には、5名の日本人職員が採用されています。

以上



第53回 ITER 職員募集説明会(東京 新橋)会場の様子